日刊 動労千葉

80.7.23

No.489

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一－八（動力車会館）
（鉄電）二二五八～九・（公衆）〇四七二（22）七二〇七

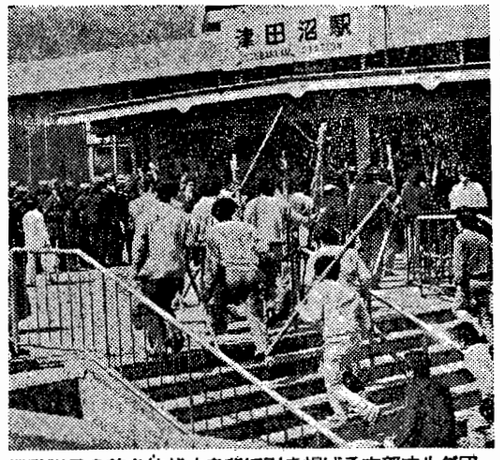
これが労働組合のやることか！

革マル分子嶋田・裏切り分子土屋の画策する『本部派支部－地本』の本性はこれだ！！

「業務を再開する」なるデタラメな申請を当局に出したことを口実に、早速、札つきの極悪暴力分子村上・室井らが佐倉に来て、「（八四名というデタラメな）数は問題ではない。業務再開したという事実があればよい。これでこれからは公然と来られる。」と本心を語っている。こんな連中にわれわれの職場をじゅうりんさせてはならない。先機関＝「本部派支部－地本」のデッチ上げ策動を断じて許すな！

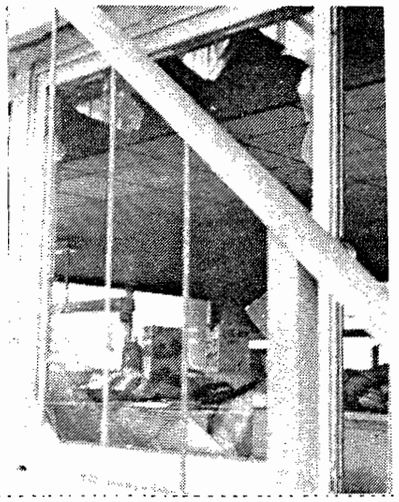
'79.4.17津田沼襲撃

革マル学生を含めた150名の『本部』暴力集団が、青竹・カケヤ・バール・ペンチ・石を持参し、白昼公然と津田沼支部になぐりこみ、『労働安全衛生委員会』を開催中の支部役員に残虐なテロ・リンチを加え、片岡支部長に頭がい骨骨折の重傷を含め、全員に重軽傷を負わせた。　これを手引きしたのが、革マルのスパイ嶋田であつた。



機動隊員の前を竹ザオを背に引き揚げる本部オルグ団

4月17日　バールで壊された寝室のドア


津田沼、壊された2階乗務員詰所の窓

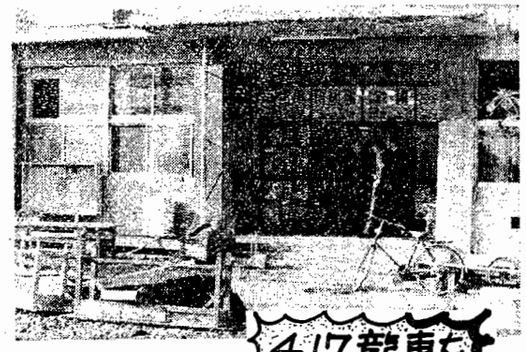
動労本部 千葉 対立加熱

動労千葉＝国鉄千葉動力車労働組合（酒川零委員長、一千四百人）の津田沼電車区に十七日、動労本部側のゴルグ団の約百人が竹ザオなどを持って乱入し同庁舎内にいた動労千葉組合員八人に負傷を負わす事件があり、運行係車七十二本が遅れるなど動労内の組織路線上の対立は暴力を伴って本格化した。動労千葉側は同日、運転士の安全確保に当局が明確な態度を示さない限りきょう十八日の始発から乗務員の勤務を拒否する一と通告し、今月二十五日の交通ストを前に国鉄当局はもう一つの難問を抱えることになった。

この日午前十一時半、革マル派学生を先頭にした部側中核四人を含め百人のゴルグ団は国鉄津田沼駅に下車した後、一気に津田沼電車区庁舎に乱入した。

同駅からの千葉側組合員の襲撃で同庁舎内で労働安全衛生委員会を開いていた八人が一・二階の階段にロッカーなどでバリケードをつくり応戦体制をとったが、バールや、かけや、投石を繰り返す本部側に破られ、暴行集団は本区の八つ（ママ）ある部屋にまで暴行を加えた。

暴力集団は、金品私物をうばわれた新小岩組合事務所



4.17襲撃を報じる新聞 4/18 千葉日報

電車を止める

オルグ乱入、8人が重軽傷

動労千葉＝国鉄千葉動力車労働組合（酒川零委員長、一千四百人）の津田沼電車区に十七日、動労本部側のゴルグ団の約百人が竹ザオなどを持って乱入し同庁舎内にいた動労千葉組合員八人に負傷を負わす事件があり、運行係車七十二本が遅れるなど動労内の組織路線上の対立は暴力を伴って本格化した。動労千葉側は同日、運転士の安全確保に当局が明確な態度を示さない限りきょう十八日の始発から乗務員の勤務を拒否する一と通告し、今月二十五日の交通ストを前に国鉄当局はもう一つの難問を抱えることになった。

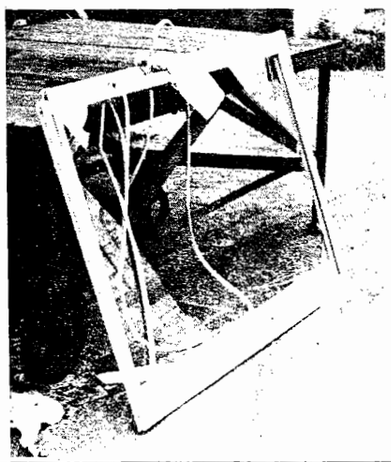
この日午前十一時半、革マル派学生を先頭にした部側中核四人を含め百人のゴルグ団は国鉄津田沼駅に下車した後、一気に津田沼電車区庁舎に乱入した。

同駅からの千葉側組合員の襲撃で同庁舎内で労働安全衛生委員会を開いていた八人が一・二階の階段にロッカーなどでバリケードをつくり応戦体制をとったが、バールや、かけや、投石を繰り返す本部側に破られ、暴行集団は本区の八つ（ママ）ある部屋にまで暴行を加えた。

この騒ぎで同電車区の区長がだちに退去命令を出したが、乗務員の中には出発時が遅れくなり、一本が三十分遅れたのをはじめ、午後八時現在上下七十二本が運休した。

この不測の事態に同電車区にやってきた中野・習志野両電車区の組合員は、暴力集団に対し「これまでは暴力集団がいろいろ暴行を行なうとあやまりをあやまにし、同日、国鉄千葉鉄道管理局の運転部長に対し「これまでは暴力集団の運転部長に対し「これまでは暴力集団の運転士の安全確保の当局は暴力集団を制する責任がある」と強く抗議した。

【動労千葉の組合員が乱入した津田沼電車区＝動労千葉側提供のバリケード内部】



破壊され、金品私物をうばわれた新小岩組合事務所

'79.4.21 新小岩 支部結成大会破壊のため庁舎をこわし乱入を図る六五〇名の「本部」！

丸太でつきやぶられた1F窓（4月21日・新小岩）

暴力集団は　バールでガラスを割り、窓枠を外す　（新小岩、）

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉砕せよ！